

# 北茨城民報

日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団ニュース

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
**福田 明**  
43-0468  
市議会議員  
**鈴木やす子**  
42-2462

## まちづくりの根幹に「検診」

### 新潟県上越市を視察

日本共産党  
北都議員団

日本共産党市議団の視察報告。前号の新潟県長岡市における防災事業につき、今号では同県上越市の保健指導についてのレポートです。

#### 健診率トップクラス

新潟県上越市は、71年に直江津市と高田市とが合併して生まれ、05年には近隣14市町村が合併して現在の市域になりました。自立の

ためにこそ合併を選ぶとして、地域自治区制度（全市で15地区）を全国で初めて取り入れました。面積は974平方キロ、人口約21万人。冬季の豪雪対策の負担、また中山間地をかかえ過疎

健康福祉部の野澤朗部長は、合併当時は企画課で合併をすすめるものとして働きがいがあつたけれど、今は福祉部において、この事業こそまちづくりの根幹と感じていると熱意をもって話

されています。平成23年度の検診率は約50%と全国でもトップクラス。今年度は65%を目標にしています。

#### 生活習慣病に専門部署

「検診から始まる健康づくり」の方針をかかげ、住民みずからが身体の状態を知り、健康維持ができるよう働きかけを重視しています。すべての世代を視野に入れていることが特徴です。健康福祉部の野澤朗部長は、合併当時は企画課で合併をすすめるものとして働



### 観光案内所

大津港駅前の赤レンガの元倉庫が改修され、7月17日に北茨城大津観光案内所「びすとれ」として開設されました。市商工会の管理で、天心焼やガラス器も展示されています。8月18日からのディズニー展にあわせて、同グッズの販売もあるとのこと。通常は10:00～16:00、月曜定休。ディズニー展会期中は9:00～17:00となります。



### 球技大会

市子ども会育成会による「体力づくり中央球技大会」。写真は、男子ソフトボール。（精華小学校グラウンド、7/29）

就労世代も視野に  
さらに、就労世代をも視野に入れて、市内企業の健保組合と情報交換をしています。現役で働いているうちから健康管理に関心をも

そうした基礎データをもとに、生涯の健康を一貫して見守る体制を確立するため「生活習慣病予防対策室」が設置されました。合併のメリットをいかして、数多くいる保健師の集中配置と役割分担を明確にし、地域にはりついで、本来の保健指導に力を入れています。

てもらおうのがねらいです。民間を通して保健指導のノウハウを伝えようという先進的な取り組みです。

「東海第二の廃炉」「子どもをまもれ」と訴えます。今回は、お盆をはさんで8月17日の午後6時～7時が予定されています。

医療費の抑制、国保会計や介護保険会計の財政健全化につなげようとしています。今後は、学校に通う児童・生徒に対して、教育委員会を巻き込んで取り組みを強めていくとしています。

北茨城市  
と原発事故やエネルギー問題について、さまざまな思いが語られました。



総理官邸  
脱原発を訴える総理官邸前での毎週金曜日の行動が、ようやくマスコミでも報道されるようになりました。



茨城県庁の北側、日本原電前（7/27）

## ひろがる脱原発の声